

2011 年度報告書（研究員）

氏 名	平井 芽阿里
職 位	グローバル COE 研究員
<p>研究概要</p> <p>本研究の目的は、沖縄県から本土へ移住した沖縄県出身者が結成した「沖縄系コミュニティ」に所属する個々人の民俗宗教の実践について文化人類学的に考察することである。ここでの「沖縄系コミュニティ」とは本土で生活する沖縄県出身者が結成した各種団体のことであり、県人会、郷友会、婦人会、芸能団体を含む。沖縄県人会は、1950 年代に日本本土への復帰運動を背景に結成されるなど、沖縄県出身者同士の親睦や交流の場としてのみ組織されたわけではなく、政治的組織としても機能してきた。現在では、本土に居住する沖縄県出身者および各種団体の名称、氏名（代表者）、住所登録や管理などを行い、個人データの一部は沖縄県とも共有している。このような公的な沖縄系コミュニティには、必ずしも本土在住の沖縄県出身者の全てが所属するわけではなく、沖縄県出身者のみが所属するわけでもない。また、本土在住の沖縄県出身者の中には、沖縄系コミュニティとは別の、故郷でのコミュニティに所属する者もいる。本研究では主に祭祀組織や村の聖域など故郷での宗教的コミュニティを通して私的に実践される民俗宗教の実践から故郷との宗教的連帯について明らかにした。本研究に関する調査は次の通り行った。</p> <p>まず 2011 年 6 月 18 日から 20 日にかけて、愛知県在住の沖縄県出身者が参加する故郷沖縄県宮古島での祭祀儀礼に関する調査を行った。次に 10 月 5 日から 9 日にかけて愛知県、東京都、神奈川県在住の沖縄県出身者が参加する故郷沖縄県宮古島の祭祀儀礼に関する調査を行った。また 12 月 17 日には、東京都在住の沖縄県出身者へのインタビュー調査を行った。全ての成果は以下の業績リストおよびワーキングペーパーに詳しい。</p>	
<p>業績リスト（著書、論文、報告、その他に分けて主要なものを記入する）</p> <p>【著書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平井芽阿里 2012 『宮古の神々と聖なる森』 新典社 <p>【報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平井芽阿里「沖縄村落祭祀論再考」 比較民俗研究会、神奈川大学、2011 年 4 月 ・平井芽阿里「愛知県在住の沖縄県出身者と故郷との宗教的連帯について」 日本文化人類学会、法政大学、2011 年 6 月 ・平井芽阿里「本土の沖縄系コミュニティに見る「沖縄」表象 愛知県在住の沖縄県出身者の事例」 まるはち人類学研究会、南山大学、2011 年 7 月 ・平井芽阿里「モリのフォークロア前編」 くくのち学舎（多摩美術大学）、2011 年 10 月 ・平井芽阿里「モリのフォークロア後編」 くくのち学舎（多摩美術大学）、2012 年 1 月 	